

資料2 IFN フリーDAA 製剤の併用禁忌・併用注意薬 (■■■■ :併用禁忌、 ■■■ :併用注意)

* 2019年2月現在の各添付文書より。

* 太矢印(↑/↓):DAA の血中濃度が増加/減少し、効果が増強/減弱するおそれがある。

* 細矢印(↑/↓);併用薬の血中濃度が増加/減少し、効果が増強/減弱するおそれがある。

	薬剤名	主な商品名	SOF	Harvoni (SOF/ LDV)	EBR	GZR	Maviret (GLE/PIB)	Epclusa (SOF/ VEL)
消化器系薬								
制酸剤								
	乾燥水酸化アルミニウムゲル	アルミゲル		↓				↓
	水酸化マグネシウム	ミルマグ		↓				↓
H ₂ 受容体拮抗薬								
	ファモチジン	ガスター		↓*1				↓*1
	ラニチジン塩酸塩	ザンタック		↓*1				↓*1
	シメチジン	タガメット		↓*1				↓*1
	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	アルタット		↓*1				↓*1
	ニザチジン	アシノン		↓*1				↓*1
	ラフチジン	プロテカジン		↓*1				↓*1
プロトンポンプ阻害薬								
	オメプラゾール	オメプラール、メプラゾン		↓*2				↓*3
	ランソプラゾール	タケプロン		↓*2				↓*3
	ボノプラザンフマル酸塩	タケキャブ		↓*2				↓*3
	ラベプラゾールナトリウム	パリエット		↓*2				↓*3
	エソメプラゾールマグネシウム水和物	ネキシウム		↓*2				↓*3

	薬剤名	主な商品名	SOF	Harvoni (SOF/ LDV)	EBR	GZR	Maviret (GLE/PIB)	Epclusa (SOF/ VEL)
代謝系薬								
	アトルバスタチンカルシウム水和物	リビトール				↑	↑	↑
	シンバスタチン	リポバス等				↑	↑	
	ピタバスタチンカルシウム水和物	リバロ					↑	
	プラバスタチンナトリウム	メバロチン					↑	
	フルバスタチンナトリウム	ローコール				↑	↑	
	ロスバスタチンカルシウム	クレストール		↑	↑	↑	↑	↑
感染症薬								
抗結核薬								
	リファブチン	ミコブティン	↓	↓	↓	↓		↓
	リファンピシン	リファジン等	↓	↓	↓	△*4	↓	↓
抗 HIV 薬								
	アタザナビル硫酸塩	レイアタツツ			↑	↑	↑	
	サキナビルメシル酸塩	インビラーゼ			↑	↑		
	ダルナビルエタノール付加物	プリジスタ				↑	↑	
	リトナビル	ノービア			↑			
	ロピナビル/リトナビル	カレトラ			↑	↑	↑	
	エトラビルン	インテレンス			↓	↓		
	エファビレンツ	ストックリン			↓	↓	↓	↓
	コビススタットを含有する製剤	スタリビルド、ゲンボイヤ				↑	↑	

	薬剤名	主な商品名	SOF	Harvoni (SOF/ LDV)	EBR	GZR	Maviret (GLE/PIB)	Epclusa (SOF/ VEL)
抗 HIV 薬 (続き)								
	エルビテグラビル					↑		
	エムトリシタビン					↑		
抗ウイルス薬								
	テノホビル・ジソプロキシルフマル酸塩	テノゼット、 ビリアード、 ツルバダ		↑		↑		↑
	テノホビル・アラフェナミド	ベムリディ				↑		
循環器薬								
	アミオダロン塩酸塩	アンカロン		△*5				△*5
	ジゴキシシン	ジゴシン		↑			↑	↑
	ボセンタン水和物	トラクリア			↓	↓		
	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	プラザキサ					↑	↑
中枢神経系薬								
	カルバマゼピン	テグレートール	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	フェニトイン	アレビアチン、 ヒダントール	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	フェノバルビタール	フェノバルル	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	ホスフェニトインナトリウム水和物	ホストイン			↓	↓		
	モダフィニル	モディオダール			↓	↓		

	薬剤名	主な商品名	SOF	Harvoni (SOF/ LDV)	EBR	GZR	Maviret (GLE/PIB)	Epclusa (SOF/ VEL)
免疫抑制薬								
	シクロスポリン	サンディミュン、 ネオーラル				↑	↑	
	タクロリムス水和 物	プログラフ、 グラセプター				↑		
ホルモン薬								
	エチニルエストラ ジオール	プロセキソール					△*6	
その他								
	スニチニブリンゴ 酸塩	スーテント			↑	↑		
	セイヨウオトギリソ ウ (St. John's Wort: セント・ジョー ンズ・ワート) 含有 食品		↓	↓	↓	↓	↓	↓

*1 ソホスブビル/レジパスビル配合錠、ソホスブビル/ベルパタスビル配合錠を H2 受容体拮抗薬と併用する場合は、H2 受容体拮抗薬を同時投与または 12 時間の間隔をあけて投与すること。

*2 ソホスブビル/レジパスビル配合錠投与前にプロトンポンプ阻害薬を投与しないこと。併用する場合はプロトンポンプ阻害薬を空腹時に同時投与すること。

*3 ソホスブビル/ベルパタスビル配合錠をプロトンポンプ阻害薬と併用する場合は、ソホスブビル/ベルパタスビル配合錠の食後投与後、プロトンポンプ阻害薬を 4 時間の間隔をあけてオメプラゾール換算量として 20mg を投与すること。

*4 併用により初期にグラゾプレビルの血中濃度が上昇する。その後併用を継続するとグラゾプレビルの血中濃度が低下する。

*5 ソホスブビル/レジパスビル配合錠、ソホスブビル/ベルパタスビル配合錠とアミオダロンとの併用で徐脈などの不整脈があらわれるおそれがある(機序は不明)。

*6 グレカプレビル/ピブレンタスビル配合錠とエチニルエストラジオール含有製品との併用で ALT 上昇のリスクが増加するおそれがある。